

RPPC メールマガジン 第 824 号

リサイクルポート推進協議会（令和 2 年 5 月 25 日）

■事務局からのお知らせ

総会に関するお知らせを当協議会ホームページでも掲載する予定です。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1.羽田空港アクセス鉄道基盤施設事業、新規に調査・設計着手

関東地方整備局東京空港整備事務所は今年度の東京国際空港（羽田空港）整備事業に 4 2 5 億 8 0 0 0 万円を計上、空港アクセス鉄道の基盤施設整備に新規着手する。

羽田空港アクセス鉄道の基盤施設整備は、J R 東日本が計画している羽田空港アクセス線のうちの一部区間と、京急空港線駅から延伸する引上線を整備する。今年度は調査・設計を進める。

羽田空港アクセス線は、東海道線田町駅付近から大井ふ頭にある東京貨物ターミナルを経て、羽田空港内の新駅に至る延長約 12・4 キロメートルの路線。このうち新線区間は東京貨物ターミナル付近から羽田空港新駅（仮称）までの約 5 キロメートル。

新線区間はシールドトンネルと一部開削トンネル、地下の駅舎で構成。

2.沿岸センターがウェブ方式で洋上風力講習会、設計技術・適合性確認等

（一財）沿岸技術研究センターは 5 月 29 日（金）午後 1 時 30 分から 4 時まで、ウェブ会議方式により「洋上風力発電設備の設計技術・適合性確認に関する講習会」を開催する。今回の講習会は、先行的な対応が求められる地方整備局等や港湾管理者等の行政関係者が対象。募集締切は 5 月 22 日。問合せ・申込みは沿岸センターホームページから。風力発電事業者や設計者等に対しては今年夏ごろの開催を予定している。

沿岸技術研究センターは、国土交通大臣から登録確認機関としての登録を受けて適合性確認業務を実施してきている。

3.宇部港の港湾改訂で地港審開催、新沖の山に幹線貨物輸送 T など

山口県は 3 月 26 日、山口県地方港湾審議会宇部港部会を開催し、宇部港の港湾計画（改

訂)について原案通り了承した。同港湾計画の改訂案は本年7月に開催予定の国土交通省交通政策審議会港湾分科会に上程し審議される。

物流分野では、バルク貨物の広域供給拠点の形成として、新沖の山地区に石炭輸入用の大水深岸壁(水深16m岸壁延長390m)を計画し、徳山下松港との共同輸送としてセカンドポートの役割を担うほか、パナマックス満載入港への機能も確保する。

また環境分野への取組みの促進として、循環資源やバイオマス貨物等の環境負荷軽減に資する貨物を効率的に取り扱うことができるよう利用形態の見直しを行う。東見初地区において循環資源を取扱う岸壁(水深7.5m岸壁、ふ頭用地約15ha)などを位置付けている。

【港湾空港タイムス 05月18日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設(株)

部会員：丸岡 裕人 日本製鉄(株)

友歳 巖 五洋建設(株)

川田 延也 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団(内) 担当：押田、清水、安田

URL: <http://www.rppc.jp/> E-mail: rppc_jimukyoku@wave.or.jp

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡ください。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡ください。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡ください